

2020年10月26日

株式会社プラコー御中

プラコー労働組合
組合員一同

臨時株主総会招集及び株主提案への反対意見表明

プラコー労働組合（以下「当組合」）は、組合員25名全員の総意により、このたびの、株式会社プラコー（以下「当社」）の株主有限会社フクジュコーポレーション（以下「フクジュ」）ら及びそれらと実質的に共同している和円商事株式会社（以下「和円商事」）や同社代表者本多敏行氏（以下「本多氏」）らのグループによる臨時株主総会招集及び株主提案（以下「本提案」）に、断固として反対することを表明いたします。

当組合は、当社が2020年10月20日に公表した株主提案への反対表明を受け、組合幹部が今後の対応について検討を行い、当社経営陣に対して、フクジュによる臨時株主総会招集及び本提案の経緯や内容について当組合組合員に正確な情報伝達を行うために継続的に情報提供を求め、及び、本提案に対する組合員の意向を確認して適切な判断を行うことを要求しました。その後、当組合は、当社経営陣からフクジュによる臨時株主総会招集の経緯や内容について説明を受け、当組合においても本提案を行っているフクジュらのグループの情報を収集・検討し、組合員に情報を提供して、組合員の意向を聴取しました。

その結果、当組合は以下のとおり判断いたしました。

フクジュらのグループによる本提案は、フクジュによる2016年の株主提案と同様に、当社の経営支配権を奪取することを目的として、一方的かつ強圧的に、当社取締役4名全員の解任と、フクジュらのグループが候補者とする、これまで当社と何らの関わりのなかった取締役候補者5名の選任を要求するものです。当社はプラスチック成形機の製造・販売・メンテナンスというニッチな業務を主な業務としており、その業務遂行の基礎には当社が60年以上にわたって培った技術・ノウハウや人脈・人間関係が不可欠です。本提案のとおり取締役全員が入れ替わり、これまで当社と関わりの全くなかった取締役候補者が当社経営を行うことは不可能であり、本提案のとおりとなった場合に、当社の企業価値が毀損されることは明らかです。

フクジュらのグループが、真に本提案の5名の取締役候補者により当社経営

を行おうとするのであるならば、フクジュ代表者や本多氏が取締役候補者と共に当社を訪ね、当組合の組合員ら従業員に説明するなどして相互理解に努めようとするはずです。しかし、これまで、そのような労使間の関係を構築するための呼び掛けは全くありません。経営陣と従業員との相互理解や従業員とその家族の生活への配慮を全く無視しているフクジュらのグループは、当社の業務に真摯に取り組む意思が全く無いものと判断せざるをえません。

また、フクジュらのグループは、当社の現経営陣が、従業員持株会や譲渡制限付株式の発行などによって従業員の福利厚生を図ると共に、従業員が株主の目線・経営者としての目線で業務に従事するような仕組みを構築していることを、内向きであると批判しています。しかし、この批判は全く失当と言わざるを得ません。従業員が株主の目線・経営者としての目線を持って業務に従事することで、業務の効率化や改善が進み、高品質・高付加価値の商品をお客様に提供することができ、2期連続の過去最高益や、数十年の長きにわたり無配だった当社において3期連続の利益配当という高い実績に繋がったのです。フクジュらのグループの批判は、当社の業績改善・過去最高益などの事実を全く無視した根拠のないものです。

さらに、フクジュらのグループは、私ども当組合の組合員たる従業員も当社株主であることを無視しています。株主共同の利益を明らかに毀損する本提案に対しては、当組合の組合員たる従業員は、株主としての立場でも断固として反対いたします。

フクジュらのグループが、当社買収防衛策に定められた手続を無視している点、臨時株主総会招集手続において基準日公告では11月中旬としていた開催日時を何らの事前の説明や手続もなく11月上旬である11月6日に変更して突然招集通知を送付してしまった点、さらに、さいたま地方裁判所から選任された総会検査役に開催日時場所が決まっていないという事実と反する虚偽の内容を平然と申し述べていた点などからすると、フクジュらのグループには、法や社会のルールに定められた適正な手続を履践する考えがないと判断せざるをえません。労使間の交渉・協議においては、労働基準法・労働組合法その他の関係法令に定められた手続や実務慣行に従い、使用者による騙し討ち的な行為がなされないようにしていただかなければなりません。フクジュらのグループが当社の経営支配権を奪取した場合には、法令に従った手続が履践されるとは考えられません。当組合の組合員である当社従業員の権利・利益が踏みにじられる深刻な懸念があります。

従いまして、当組合は、組合員全員の総意として、フクジュらのグループによる臨時株主総会招集及び本提案への反対を表明いたします。万一、当社の経営支配権がフクジュらのグループに渡った場合には、当組合は、労働条件に関わる当

社業務の方針・内容について、フクジュらのグループからの誠実な話し合いによる納得のいく説明が尽くされない限り、無期限のストライキを断行せざるを得ないこととなります。

以上